

令和5年6月28日(水)岡山県立新見高等学校工業技術科1年生(27名)の生徒を対象に、土木の魅力を伝え、港の役割や水島港の概要について知ってもらうことを目的に、宇野港湾事務所は「水島港現場見学会」を開催しました。

船内で水島港の穀物輸入量が全国2位であることや、水島臨海工業地帯における製造品出荷額が岡山県内のおおよそ半分を占めていることを説明したところ、生徒たちは「それはすごい!」と普段は感じることのできない水島港の凄さに興味津々でした。また、質問タイムでは「土運船はどうやって曳いているのか」や「港湾土木関係の仕事で働く上で必要な資格は」など多くの港湾や土木に関する質問がありました。

当日は、係留中の浚渫船内での見学を行い、デジタルサイネージで実際に動いている浚渫作業時の映像を見学したり、普段は見ることのできない船の操作室やクレーンの操作室の見学などを通じて、海上工事や港の役割について理解を深めていただきました。



クレーンの操作室を見学



“デジタルサイネージ”で浚渫作業を見学



～浚渫船で記念撮影～



船内で港や水島港についての説明



船の操作室を見学